

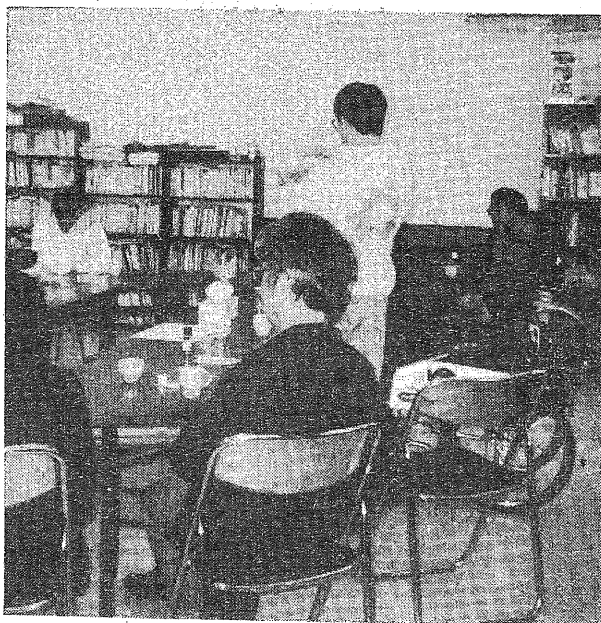
向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。



社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平田 義
編集 恵 大一郎

これからも、研修センターを

よろしくお願いします！



＜愛隣デイサービスセンター＞

愛隣デイサービスセンター

所長 平田 義

愛隣館研修センターがこの向島の地に誕生して十五年の月日が経過いたしました。当初は、保育や療育に関わる職員、地域の集いの場として利用されてきました。そして、センターの姿もその時々によって利用される人々が違っていて、それぞれ顔を覚えてきています。例えば、開館当初から地域のお母さん方が中心となつて取り組まれてきた「ふうせん文庫」には、毎週百名を超え、子どもたちが出入りし、そ

れはにぎやかな文庫活動でした。その「ふうせん文庫」も向島図書館ができてからは、活動の内容もお母さん方の読書会などに変わってきています。また、様々なグループ活動や勉強会などでの熱心な討論や学びの場としての顔。パザールや映画会などでの催し会場としての顔。そらばんや英会話、塾などの教室活動の顔等、それはまさに、老若男女が共に集える場として、用いられてきました。その中でも、近年は特に、地域の「障害」を持つ方々の交わりの場としての顔があります。向島地域には車イス専用の住宅があり、多くの「障

害」を持つ方々が住んでおられます。また、当センターの一階部分には「障害」児の通園施設「空の鳥幼稚園」があり、この向島にもその卒園児を含めた様々な「障害」を持つ子どもたちがたくさんいます。それら「障害」を持つ子どもたちとその親たち、とり囲むボランティアたちが、このセンターに集い、地域がまたこの社会が「障害」を持つ者だけでなくお年寄りや子どもたち、すべての人にとつて住みやすい生き生きとした街になることを願って、様々な交流のプログラムを行ってきました。そんな中で、私たちはそのような願いをかえらるる拠点としての「生活センター」の設立を目指してきています。

そして、ついにその第一歩として、念願のエレベーターの設置に伴い身体障害者のデイサービスセンターが、一昨年の七月に開所されました。地域に住む「障害」者たちにとって、デイサービス者の開始によって、昼間の食事やその他の介護の心配がなくなり少しは安心して地域で生きていける状況を作ることができつつあります。一人がトイレや食事のできない者にとつては、大きな進歩であったと話してくれています。また、今まで道で出会っていても、お

次ページへつづく……

研修センターの活動を支えて頂き

どうもありがとうございます

互い知らない者どうしであった、同じ「障害」を持つ人たちが、このセンターで出会い、素晴らしい友情の輪が広がっています。今度の給食中心型のデイサービスに今後は、3階を増築して入浴サービスも実施していくことが、今年度の大きな目標であります。これも、京都市と国からの補助の決定によって、何とかめどが付きそうな気配です。これが実現すれば、「地域」の「障害」者らにとって、本当に明るいニュースだと言えるでしょう。これからも、地域の皆さまに、愛されるセンターとして様々な活動に積極的に取り組んでいきたいと考えております。今後共、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1994年度 賛助会・会員の皆様

主の御名を賛美します。

一九九四年度の愛隣館研修センターの賛助会会員をご紹介させていただきます。なお、献金額は二八四口、六五三七七四六円でした。(三月五日現在) どうもありがとうございます。

九三年度より始まった身体障害者デイサービスの方も、徐々にではありますが地域の皆様にも知って頂けるようになり、利用者も着実に増えつつあります。これからも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

会員の皆様のお名前を記させていただきます、感謝の印と代えさせていただきます。

三月五日現在 順不同 敬称略

《月定会員》

- 石山愛子・上田圭子・信濃すゑを・酒井登茂代・広瀬悦子・君村千代子・江藤淑子・松井知恵・作野敷子・引原勝美・恵七口子・木村淳子・岩尾真理・松井望・高橋めぐみ・後宮松代・田中春枝・前川直美・金子町子・谷口あさ子・高橋幸子・木村耕・倉田妙子・内藤仙太郎・弘子・島崎富子・島崎歳子・松村有希子・松村新子・伊藤明・今福義明・柏木正行・白川健児・富士岡聖夏・玉井勝也・荒木拓美・近藤政一・松野正信・清美・高下恭子・藤田恭子・下岡一夫・愛子・橋永知加子・中村澄江・安野優美・三谷昭子・木村春江・恵丈一郎・松本瑞江・坂田幸作・斉藤友和・新井昌洋・林栄子・後宮忠正・福田和信・渡辺文子・福田富代子・藤田妙子・斎恵子・森弘・村上知子・藤井千賀子・栗林千代栄・芝田有加・武本優美・世光教会。(六四名)

一 二四万七千五百円

《指定献金(増改築、クリスマス、年会費)》

- 近藤和江(三口)・加治木政子(二口)・宮本真希子(二口)・西田和可子(三口)・滝口宣(二口)・南陽子(三口)・田村早千枝(三口)・佐伯昌祥(四口)・木本雅子(三口)・今井晋(二口)・橋原正彦(二口)・小西望(三口)・榎本久美江(三口)・松田央(二口)・小柳伸頭、玲子(二口)・中村敏(三

口)・山崎雅美、久枝(二口)・川守田陽(二口)・横田督子(二口)・福井達雨(二口)・森孝一(二口)・安野優美(二口)・西村幸郎(二口)・吉田雅美(二口)・成田信義(二口)・山本透、清美(二口)・平田哲、真貴子(二口)・江藤淑子(二口)・赤中田正道、美歌(二口)・赤保正典、溝口智之・五藤薫子・宇垣壬午、今井洋・田中晃・宇治教会員(匿名)・竹中正夫・大澤宣・木村良己・館山英夫・野の百合保育園同窓会・松崎・平田義、恵大一郎、矢崎和彦・井桁光、特別養護老人ホームフジの園・坂岡隆司・志賀勉・湯川政雄、村山盛嗣・小崎眞、佐藤秀夫、矢崎邦彦・杉原輝明、黄貞美、菅根信彦・李清美、細谷直巳、柏木正行・特別養護老人ホームフジの園・砂川祐司、土橋敏良、岡崎岳川上清樹、島崎富子、清水麻里、今福義明、榎本恵、小池敬子、鞍好子、大谷和功、草刈孝昭、今井鎮雄、近藤孝子、教団旭東教会・大賀幸一、兵藤みや子、黒多健、伸枝、金井創、今井謙、溝口修造、神谷幸子、千葉宜義、鳥羽羽子、野川千寿、中村信博、教団神戸愛生伝道所(二口)・教団八幡ぶどうの木教会(二口)・教団甲府教会、教団水口教会、大山医院、かめかめクラブ、賀川記念館、京都YMCA伏見桃山センター、ほつとハウス、神戸保育専門学校、教団京都教会、教団長岡教会、B.P.W京都クラブ、ムーニツシユカンパニー、あそぼう会、伊藤珠算教室、教団松沢教会、教団甘菜教会、

教団大住世光教会、同志社女子中、高等学校宗教部、一麦保育園、特別養護老人ホームフジの園、教団琴浦教会、園田江田幼稚園、光の子保育園、教団各務原教会、教団宇治教会、教団市川三本松教会、教団鎌倉恩寵教会、教団京都復興教会、京都市民福祉センター、近江兄弟社学園、教団大阪東十三教会、教団京都丸太町教会、教団熊本草葉町教会、教団池田五月山教会、教団番町教会、杉の子保育園、教団神戸教会、教団紫野教会、教団学校、教団鎌ヶ谷教会、教団錦林教会、教団八頭教会、教団平安教会、教団松戸教会、教団土佐教会、矢崎和彦、木村春江、玉井勝也、恵七口子、後宮忠正、成瀬正代、高橋めぐみ、乾節、榎本てる子、君村千代子、作野敷子、高橋幸子、水野康子、山下晶子、杉本孝子、谷口あさ子、石井真理、藤田恭子、坂田恵美、富増玲子、前川直美、荒木拓美、松井知恵、嶋崎瑞恵、後宮松代、中西加代子、嶋崎達也、中西昌哉、石山愛子、上田圭子、三谷昭子、林栄子、後宮昭子、金子博、町子、松本瑞江、森弘、吉川泰子、山本和子、内藤仙太郎、弘子、北岡なみ子、倉田妙子、下岡一夫、愛子、広瀬悦子、無記名献金九名。(二二〇口)

五二九万二四六円

ぼくが調べた！ 向島の歴史

連載 第13回 柏木 正行

大 遠 征

私は時に、気の向くまま、国道の西側の旧市街を探索したり、観月橋を渡って、伏見の大手筋界隈にまで大遠征するのです。

「障害」者・いこいの家 「めぐみホーム」

その大手筋の一角に、一九八八年の九月、「障害」者・いこいの家「めぐみホーム」と名付けられた「障害」者の憩いの場が作られ、私の散歩のコースに加わりました。この「めぐみホーム」は日本キリスト教団西小倉めぐみ教会の多芸師が、私財を投じて建設した平屋の建物で、場所は大手筋に東から入って一番手前の道路を北へ二〇メートル程上がった所。道路に面した部分は、「障害」者が作った手芸品や、骨董品などを売る小綺麗な店で、その奥に、訪れた誰もがくつろげるホール台所、車イス用のトイレなどがあります。この「めぐみホーム」には、所長の多芸師の他、職員が二人、この三人のスタッフを囲んで、いわゆる「障害」者を持つ人も、持たない人も大勢出入りしています。そうした明ると、和やかな雰囲気にも包まれていて、普段自立「障害」者として肩肘張って生きている私の心も和まされるのです。そして、この向島にも「めぐみホーム」のようなセンターが欲しいと思うのは、私の気が弱くなったからなのでしょうか。

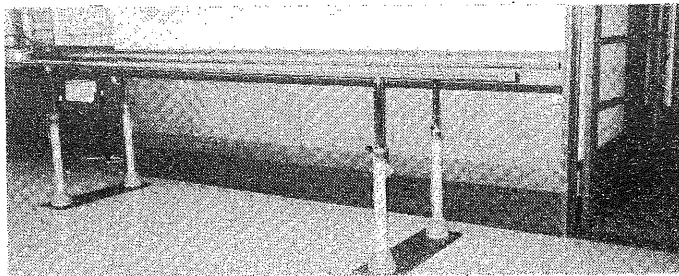
向島に「生活センター」を：

「めぐみホーム」は人と人との出会いを大切にしたいとする多芸師個人の努力と、「障害」者の問題に関心を持つ多くの人々の熱意の賜であり、規模もそんなに大きくはありません。しかし、私のイメージする「生活センター」は、理想としては、ある程度の規模を備え、「障害」者のことばかりでなく、母子家庭や、高齢者の問題にも対応できるものがいいなと思っています。ある年の冬、近所に住む独り暮らしの男性が亡くなり、助けも求められないまま絶命されたのではないかと思いましたが、その死が明らかになったのは、それから五日後のことでした。こうした都会の片隅でも孤独な死は、それが新聞にも載らないほど日常茶飯事になっていきますが、もしこの向島に、生活上の困りごとを気軽に相談できる場所や、必要な時に援助を受けられるシステムがしっかりと整っているならば、その男性も、ひよっとして命を落とさずにすんだのではないかと考えるのは、私自身が一日二十四時間介護を受けなければ生きられない人間だからでしょうか。

次号につづく……

歩行練習用「平行棒」購入

にっこりフェスティバルの収益を
利用させて頂きました。



前回の研修センターニュースにて、皆様にお知らせさせて頂きました「にっこり・フェスティバル」で得ることが出来ました収益、四万四千六百六十六円を用いて、上の写真の「歩行練習用「平行棒」」を購入いたしました。

これにより、今までリハビリで、歩行訓練をしながら、わざわざ醍醐の病院まで出掛けておられた利用者の方も「いちいち、遠くへいく必要がなくなつて便利になった」と大喜び。毎日、少したつづの時間を使って機能維持の練習に励んでおられます。

皆様のご協力が、このように、具体的な形で実を結び、利用者の方々喜んで頂くことが出来、大変感謝しております。

これからも、もつともつと多様な形で、利用者のニーズに添えていけるよう、設備面での導入、改善に力を注いでいきたいと思っております。

これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。

阪神大震災・被災「障害」児、者 支援の会 結成される！！

去る、一月十七日の未明に起きた阪神大震災は、私たちの想像を絶する、多くの人々の生命と生活を奪い、深い爪痕を今も残しています。

ニュースで地震の被害が報じられていく中で、私たちは何かしなければいけない、何が自分たちにはおれませんか、と思わずにはおれませんでした。

そこで、日頃から「障害」児や「障害」者に関わる、めぐみホームやほっとハウス、共同作業所ベテスタの家、京都市民福祉センター、当愛隣館研修センターの有志が集まり、今回の地震で被災された様々な「障害」を持つ方やそのご家族を支援する活動を始めようと考えました。そして「被災「障害」児・者支援の会」が発足いたしました。

支援の会の主な活動内容は、被災された「障害」者の状況の把握と情報の収集、必要とされる物資の提供、介護人の派遣や、炊き出しの支援、被災された方の緊急避難場所の提供、難区に拠点を設置し、難区・東灘区の避難所や在宅の「障害」者への入浴サービスや送迎サービスの実施、必要とされる資金の援助、またこれらの活動を進めていくために募金活動の実施等を多くのボランティアに支えられて展開しております。

私たちのセンターも事務所の一員として緊急一時避難場所の提供の責任と、現地での活動の責任を担って動いています。

被災地を回って見て、感じることは、やはり弱い立場にある方々、「障害」者や高齢

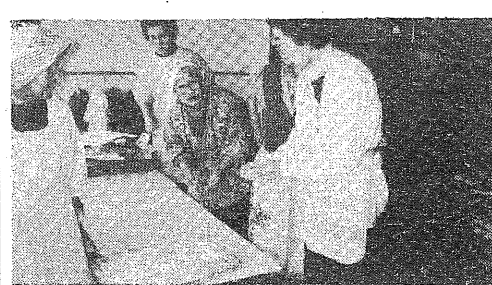
3月10日現在
18団体が参加

者、在日外国人などのいわゆる社会的弱者と呼ばれている方々が特に困難な生活を強いられることでは、これは彼らの生活が震災前からも、行政やヘルパー、地域のボランティアグループなどの手助けがあつて成り立ってきたもので、それは震災があつても同じように必要なことなのです。しかし、大震災が起きてそのような介護や手助けが地域の中で得られなくなつてしまいが、路頭に迷つてしまった方々が少なくありませんでした。

私たちは、この活動を、神戸の方々が元気に復活されて地域の人々がそのような介護を必要とする方と共に歩んでいくことができるようになるまで、頑張つて支援を続けていきたいと考えております。

今後とも、ご協力の程をよろしくお願いいたします。支援の会への詳しいお問い合わせは当センターか若しくは、障害者いこいの家めぐみホーム（☎075-161-2106 三四）まで。

高齢者の方々と共に・・・ 「お餅つき」大会



去る三月十日(金)、愛隣館にて、高齢者の方々、又、当デイサービスの利用者との交流・おもちつき大会が開かれました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、そんな雨などには負けず、園庭にテントを張り、「二の丸老人クラブ」・「ふみよ会老人クラブ」等から参加された約30名の方々が、おもちつきに汗を流し、ついたおもちをていねいにこねてくださいました。その後、園児らの歌や劇を見ながら一緒にもちを食べ、楽しい一時を持ちました。

次年度も、より多くの方々に参加して頂いて、地域の中での楽しい交流の時がもてればと思います。皆様、ご苦勞様でした。

カレンダー

◇デイサービス・お花見◇
四月四日(火)、行き先未定。詳細はセンターの方までお問い合わせください。

◇年度末休館日◇ 三月三十一日(金)、四月一日(土)。職員の日
修プログラムを予定。

◇スタッフ近況報告◇ 昨
年四月より、当センターの活動のお手伝いをしてくださっている橋永知加子さんが、家西悟さんと結婚されました。結

編集後記

年度代わりの慌ただしい日々を皆様方はどのように過ごされているでしょうか。春の陽気に誘われ、心も身体もリフレッシュして新しい年度の活動に気合を入れたいなと思う今日この頃です。次号まで、皆様方お元気で
お過ごしください。